

もみじ

—広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 高体連雪山大会 (2/6 もみのき森林公園) 報告
2. 登山教室 (1・2 年合同 2/14 臥龍山、2/21 吉和冠山) 報告
3. 来年度の主な岳連事業計画
4. 岳連短信

1. 高体連雪山大会報告

(県高体連登山部委員長・廿日市高校 美藤 陽一)

2月6日(土)、もみのき森林公園で雪山の大会となる県高校新人登山大会が開催されました。本来はテント泊を伴う土日での予定でしたが、コロナ対策のため日帰りとなりました。ひと月前には1m近くあった雪もかなり融けてわずかに残るばかりでしたが、快晴で気持ちいい春山登山となりました。(参加校・人数: 修道 顧問1、国際学院 生徒4・顧問2、広島学院 生徒13・顧問2、廿日市 生徒9・顧問1、五日市 生徒5・顧問2、安西 生徒2・顧問1、その他役員・視察3)

廿日市高校生徒の感想文を紹介します。

① (2年生男子)

今回の登山は雪上歩行とはなりませんでしたが、それでも学ぶものはありました。例えば、ザックの中の荷物を取り出しやすいよう、優先度の高い順に重ねて整理しておいたり、思った以上に体温の上昇が激しかったので、軽装に素早く着替えられるように用意しておいたりすることが必要でした。

山は天候、気温共に変わりやすいものです。準備は“し過ぎる”ほどが良いと思っているので、多くの事態を想定した準備をこれからも行っていきたいです。

② (1年生男子)

雪はあまりなかったのですが、雪の上を登る貴重な経験ができて良かったです。大会の日は暖かかったので、気持ちも良かったです。新型コロナウイルスへの対策でも気を付けることができました。短い時間でしたが、多くの参加者と一緒に登れて楽しかったです。

③ (2年生男子)

私は今回の登山を通して、大勢で登ることの楽しさを感じました。大勢でワイワイしながら登るのが良かったです。

ですが、雪が少なかったのが少し残念に思いました。廿日市高校だけで事前に行ったときには75cmくらいの積雪があり凄かったのですが、今回はほとんど積雪がなかったので、積雪の多い時にまた皆で登山してみたいです。

④ (2年生男子)

今回のもみのき森林公園での雪山登山は、非常に天気が良く、気温もそれほど低くなかったので、比較的余裕を持って登山をすることができた。そして雪山登山に必要な装備や服装、雪上の歩行の仕方など、様々なことを学ぶことができた。今後、雪山で登山する時には、これらの学んだことを生かしていきたい。

⑤ (1年生女子)

雪が少なく少し残念でしたが、冬山の雰囲気を感じることができたのでよかったです。今回の新人大会は、今までと比べてあまりきつくなく、ハイキング感覚で登れたので、とても楽しかったです。自分はまだ

わかんを使ったことがないので、来年の新人大会では体験したいです。

⑥ (2年生男子)

今年は、去年と違い、雪が少なくてワカンを履いたりすることができず、少し物足りませんでした。それでも少しは雪があつて、踏んだり雪玉を作ったりして楽しむことはできましたが、雪上テント泊やワカン歩行を試みたいので、次またいつか行ってみたいです。

⑦ (1年生男子)

新人大会は、ハイキングのような感じで、競い合うことはなかったので、平和でいい大会だったなと思いました。雪の上を歩くのは、なかなかできない体験で、楽しかったです。途中で手袋を落とした人がいましたが、見つかってよかったです。防寒をしっかりとし過ぎると汗をかいてかえって危ないので、気をつけようと思いました。登山靴を忘れてしまいましたが、意外と足が濡れなくてよかったです。下りのとき、雪が崩れてかなり危なかったのですが、杖のようなものがあつたらいいなと思いました。雪の中に潜んでいる折れた木の枝などにつまづきそうになって危なかったのですが、足元をよく見て歩こうと思いました。

(以下の写真は西部提供)



体育館で開会式

(右は上から) 体育館前を出発、高崎王冠山からの下山小室井山での参加生徒集合写真、体育館前での閉会式

2. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第 7 回 2/14(日)

登山形態：日帰り山行

山城：臥龍山 人数：13 名 (スタッフ含)

今回は広島市民の市外移動の自粛が解除されましたので登山教室を再スタートしました。広島県の新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策によりカリキュラムを見直し 1, 2 年合同の山行に変更しました。雪上が初めてとなりますので講習形式にて実施しました。(森本)

(感想文) 『2021 年 2 月 14 日山行』

(登山教室 1 年生 李 京子)

新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策により中断していた教室が再開した。雪山初講習ということで、雪を求めて目的地は小室井山から臥龍山に変更された。臥龍山には「東広島山の会」で登ったばかりで気は楽になるが、あれこれ忘れかけているところに真新しい雪山装備まで加わり準備に手間取る。

朝 8 時、戸河内 IC そば道の駅で集合。1、2 年生全員参加で約三ヶ月ぶりの再会である。車数台に分乗し現地へ向かう。途中、八幡高原 191 スキー場ゲレンデにも雪はまだだったが、苧尾茶屋周辺は真っ白だった。

各自服装を整え準備体操を終え登山開始。千町原の車道を抜け、飛び石を頼りに沢を渡り、登りに差しかったところでワカン装着。麓では所々、地面が露出した林道をワカンで歩く場面もあったが、雪上歩行練習という所期の目標は達成できた一日だった。

八合目の水場まで登ったところで休憩。この日は風もなく、午後から雨という予報も幸いにして外れたが、山頂を目指すに先立ち、強風と気温低下を予想して事前に衣服を整えるという指示は、今後も肝に銘じたい。

車道の終点ともなる雪霊水でありがたく喉を潤した後、残り標高 100m を一気に上がると大岩が見え山頂に辿り着く。この日は山頂で講習中だった先客パーティー組と出会っただけだった。記念写真を撮り、掛頭山方面への鞍部を目指して下山する。

雪深い鞍部に辿り着いたところで 1、2 年生に分かれて雪山講習開始。1 年生は一人ずつ交代で、何と雪

崩埋没訓練。スコップで棺桶大の雪を掘った穴にうつ伏せとなり、両腕と肘で三角形を作って鼻口周辺に空間を確保した後、全身に 40~50cm ほどの雪を約 1 分間被せられる。僅かな雪に覆われた途端に暗く冷たく重く、全く身動きがとれないことがよくわかった。

逆に他人を埋めた後は、プローブという目盛のついた長い棒で雪をつついて埋没者の手応えを感じ、雪の深さを確認して即座に掘り返す。まず頭部の雪をスコップでおおよそ取り除いた後、両手を車輪のように素早く回して雪を掻き出す。それでも雪崩発生後、15 分間勝負だそう。雪崩遭遇時は全力で泳ぐようにもがき、少しでも雪中で浮き上がることで生死を分かつかともあるとか。

その間に 2 年生は、それぞれ工夫を凝らしてビバーク用の陣を構えていた。地形やツェルトなどを用いて少しでも居心地の良い空間を確保したお宅訪問は興味深く、後で壊すのが惜しい傑作揃いだった。

講習を終え、下山を急ぐ。なだらかな尾根が幾筋も広がっていて、地図上の現在地確認が難しい。尾根間を横切り、谷部との雪量や雪質の違いも体験した。春を間近にした雪はザクザクしており、樹齢数百年というブナの大木付近で時に足が腰までズッポリはまった。こうした大量の雪解け水が八幡湿原を潤しているのかと悠久なる自然の営みに畏怖する。木を仰ぐとやどり木や熊棚が点在していた。あんな高所まで熊が登れるとは。冬眠から目覚めた熊に出会っても、決して木には登るまいと心に誓う。

足元の熊笹を見ていてふいに、翌日予定していた味噌作りに使えると思い立つ。一緒に採取して下さった小家石サブリーダー、すみません。葉っぱで味噌に蓋をして防腐剤にするのは、葉蘭の間違いでした。熊笹に気をとられているとワカンが片足外れていたようで、後方メンバーが「これ誰の？」と拾ってくれた。狐につままれたようだった。

かくして無事下山した翌日、勇んで持参した熊笹を見た山育ちの友人が、代わりに庭の葉蘭を摘み、「わーい、新鮮な熊笹茶を飲もう。」と煎じてくれた。他の友人は、「ワカン? (マッコリ入) やかん担いで雪山へ?」と真面目に聞き返した。ワカンにやかんも担いで雪山に登れるのはいつの日ぞ。ニュースの積雪情

報が改めて目に入るようになった。広島でもっとも雪深い所があの八幡高原一帯だったとは。しんと雪の降り積もる日は、あの山に棲む熊を想う。

(以下写真提供 森本)



第 8 回 2/21(日)

登山形態：日帰り山行

山城：吉和冠山

人数：12 名 (スタッフ含)

今回は待望の積雪が有った後なので深雪が踏めるかと期待したのですが、気温は高く雪は少なめでした。しかし今回は踏み跡がないルートで行動できたので良かったです。(森本)

(感想文) 『2021 年 2 月 21 日山行』

(登山教室 2 年生 高田 正剛)

昨シーズンは暖冬で雪がとても少なく冬山講習がほとんどできなかつたため、雪が多いと言われていた今シーズンにはかなり期待していました。

年末年始に雪が積もった時は、今年こそはと本当に喜んでいたのですが、広島県の新型コロナウイルス集中対策期間の延長により 1 月の登山教室と 2 月の冬山技術研修会 (大山) が中止となり、かなりがっかりしました。

今シーズンの冬の気温は、12 月が例年より低く、1 月は例年並み、2 月はかなり高くなっていましたので、集中対策期間中の登山中断が本当に悔やまれます。

今回のスノウハイククラス (2 月 21 日：吉和冠山) は、集中対策期間が明けてから 2 回目の山行であり、実施日の 3 日前に約 1 m の積雪があったという情報が恐羅漢スノーパークのサイトにアップされていたことなどから (私は、スキーをしません、登山教室に入ってから県北のスキー場の積雪状況をチェックす

るようになりました)、新雪のラッセルを体験することができるかと期待していました。

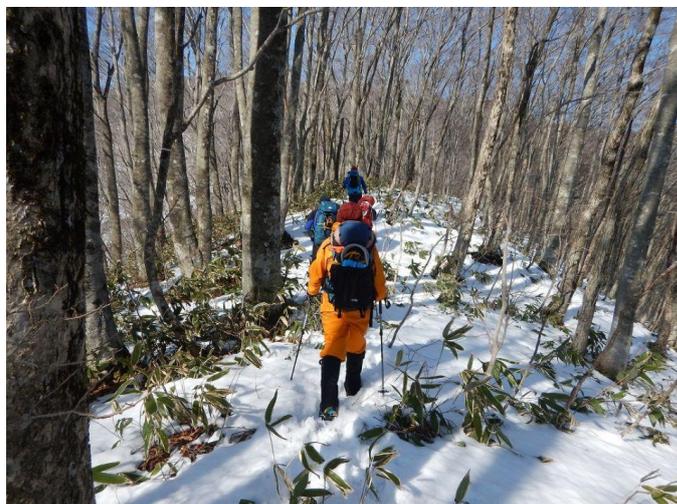
当日は、前日、前々日の好天により雪がかなり溶けてしまい、期待していた？きついラッセルは体験できませんでしたが、再開1回目の山行(2月14日:臥龍山)よりも雪が多く、ワカンを着けて先頭交代をしながら歩くことや、登山道から外れて地図と地形を見ながらルートを探して歩くなど、本当に少しですが雪山をイメージすることができました。

また、晴れている雪山は地形がわかりやすく、地図と地形の関係を夏山よりもうまく把握できると聞いていたのですが、地図からイメージしていた地形と実際の地形が一致しないことが結構あり(実際の地形がわかりやすいため、自分のイメージとの違いがより際立つ?)、読図については、まだまだ勉強と経験が必要であると強く感じました。

今年度はもう1回(3月7日:十方山)雪上歩行の練習があるのですが、この暖かさで雪がほとんどないと思われるので、きついラッセルは来シーズンに期待することとし、4月から始まる楽しい岩稜歩きに頭を切り替えて頑張りたいと思います。

スタッフ及び受講生の皆様、よろしくお願いします。

(以下写真提供 森本)



3. 来年度の主な岳連事業計画

3.12 現在

- 4/29(木祝) 国体県選手選考会 (CERO)
 5/15(土) 定時総会 (ホテルチューリッヒ東方 2001)
 5/?(日) 県民ハイキング (緑井 権現山)
 6/13(日) 県民ハイキング (恐羅漢山)
 6/19-20(土日) 救急法研修会
 (7/9~11 国体ブロック大会 岡山 rocks)
 7/11(日) 県民ハイキング (三段峽)
 8/9(月祝), 8/21-22(土日), 9/25(土) 夏山リーダー養成
 (8/20~23 全国高校登山大会 福井 三頭山・取立山)
 8/22(日) 県民ハイキング (西条 龍王山)
 9/5(日) 県民ハイキング (小室井山)
 9/14(火)~19(日) 写真展 (NHKギャラリー)
 9/25(土) 山岳・SCセミナー (西区民文化センター)
 (9/25~27 全日本登山大会 新潟 苗場山・平標山)
 (10/3~5 国体SC競技 三重 菰野)
 10/16-17(土日) 登山フェスティバル (比婆山)
 10/27(水) 全員協議会 (西区民文化センター)
 (10/29~31 中国高校登山大会 広島 十方山)
 11/7(日) 県民ハイキング (武田山)
 12/5(日) 県民ハイキング (宮島)
 1/9(日) 新年互礼登山 (宮島)
 1/16(日) 県民ハイキング (安芸小富士~下高山)
 1/29(土) 80周年祝賀会・国体/インターハイ報告会・
 岳連新年会 (ホテルセンチュリー21 広島)
 2/23(水祝) 県民ハイキング (熊ヶ峰)
 2/26-27(土日) 冬山技術研修会 (大山)
 3/20(日) 県民ハイキング (宗箇山)

4. 岳連短信**1. 寄贈御礼**

- 三原山の会『筆影』No. 492 (3月号)
 福山山岳会『会報』R3. 3月号
 広島やまびこ会『やまびこ』No. 777 (3月)
 広島山岳会『山嶺』第 867 号 (R3. 2月)
 広島山稜会『峠通信』第 741 号 (3月)

編集部より

- この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。
- 会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。
- この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。